



2021年9月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月15日

上場会社名 コナカ

上場取引所 東

コード番号 7494 URL <https://www.konaka.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長CEOグループ代表 (氏名) 湖中 謙介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員CFO管理本部長 (氏名) 土屋 繁之

TEL 045-825-7700

定時株主総会開催予定日 2021年12月23日

配当支払開始予定日

2021年12月24日

有価証券報告書提出予定日 2021年12月23日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期の連結業績(2020年10月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	58,584	22.5	7,825		6,516		1,938	
2020年9月期	47,842	21.2	4,938		6,628		12,948	

(注) 包括利益 2021年9月期 6,671百万円 (%) 2020年9月期 11,574百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	66.56		7.5	10.2	13.4
2020年9月期	444.71		36.7	9.7	10.3

(参考) 持分法投資損益 2021年9月期 百万円 2020年9月期 2,532百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	58,835	25,051	39.7	801.70
2020年9月期	69,486	32,014	41.2	982.69

(参考) 自己資本 2021年9月期 23,342百万円 2020年9月期 28,612百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	3,284	5,400	2,023	6,237
2020年9月期	3,311	1,428	63	6,121

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期		10.00		0.00	10.00	291		0.8
2021年9月期		10.00		10.00	20.00	582		0.4
2022年9月期(予想)		10.00		10.00	20.00		194.2	

3. 2022年9月期の連結業績予想(2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,800	21.3	1,600		2,000		900		30.91
通期	75,000	28.0	700		1,400		300		10.30

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期	31,146,685 株	2020年9月期	31,146,685 株
期末自己株式数	2021年9月期	2,030,693 株	2020年9月期	2,030,169 株
期中平均株式数	2021年9月期	29,116,249 株	2020年9月期	29,116,694 株

(参考)個別業績の概要

1. 2021年9月期の個別業績(2020年10月1日～2021年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	28,698	1.4	4,552		3,158		645	
2020年9月期	29,113	18.3	3,562		2,994		5,547	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期	22.15	
2020年9月期	190.53	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
2021年9月期	41,847		25,994		62.1	892.80		
2020年9月期	48,666		28,784		59.1	988.59		

(参考) 自己資本 2021年9月期 25,994百万円 2020年9月期 28,784百万円

2. 2022年9月期の個別業績予想(2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,000	33.8	1,700		2,174		1,155		39.67
通期	40,000	39.4	607		1,280		363	43.7	22.15

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会資料について)

当社は、機関投資家・アナリスト向け決算説明会の開催を予定しており、この決算説明会で配布する資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(重要な会計上の見積り)	12
(表示方法の変更)	12
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. 個別財務諸表及び主な注記	17
(1) 貸借対照表	17
(2) 損益計算書	19
(3) 株主資本等変動計算書	20
(4) 個別財務諸表に関する注記事項	22
(会計上の見積りの変更)	22
(重要な後発事象)	22

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、1月から9月まで、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言等が大都市部を中心に断続的に発令され、特に4月下旬以降のいわゆる第4波到来時には大型商業施設が休業要請を受けるなど、個人消費等への影響が拡大・長期化することとなりました。

このような状況のもと、主力となるファッション事業においては、人流抑制のためのテレワーク推進等により、ビジネスウェアに対する需要の減少や多様化の傾向が見られましたが、中でもオーダースーツ市場は堅調に拡大し、カスタムオーダー業態の「DIFFERENCE」にて百貨店への出店を進めたほか、昨年9月に「SUIT SELECT」がサービスを開始したパターンオーダーの『AI SPEED ORDER』も、お客様に浸透・定着しました。また、ニュージーランドにおける当社の指定牧場が『サステナブル・ウール』の認証を取得したのを機に、原毛生産から紡績・縫製までの工程を当社が一貫して管理する高品質なウールの展開を、さらに拡大しています。これらの施策が奏功し、客単価は期を通じて前年同月比を上回り続けましたが、来店客数は前期の9割未満にとどまりました。昨年7月に連結対象となりました株式会社サマンサタバサジャパンリミテッドも、足許では回復基調にありますが、感染拡大により大きな影響を受けました。この結果、売上高は560億44百万円(前年同期比23.8%増)となりました。

フードサービス事業につきましては、市場環境が厳しい中、デリバリーに対応する店舗の拡大等に取り組みましたが、売上高は17億11百万円(前年同期比6.0%減)となりました。

教育事業につきましては、安定的に成長していることに加えて、前第3四半期に「Kids Duo」が一時的に休業した反動もあり、売上高は8億28百万円(前年同期比11.5%増)となりました。

グループの店舗数につきましては、サマンサタバサグループで13店舗、紳士服コナカを1店舗、SUIT SELECTを6店舗、DIFFERENCEを6店舗、合計26店舗を新規に出店いたしました。一方、期間満了や移転等により50店舗を退店し、779店舗となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は585億84百万円(前年同期比22.5%増)、営業損失は株式会社サマンサタバサジャパンリミテッドの営業損失33億1百万円を取り込んだ結果、78億25百万円(前年同期は営業損失49億38百万円)、経常損失は65億16百万円(前年同期は経常損失66億28百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失は投資有価証券売却益51億41百万円を計上したことにより19億38百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失129億48百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ106億50百万円減少し588億35百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ28億66百万円減少し281億67百万円となりました。主な要因は、前連結会計年度末と比べ商品及び製品が21億79百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ77億84百万円減少し306億68百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の売却や減損損失の計上等により、投資有価証券が50億13百万円、有形固定資産が17億23百万円それぞれ減少したことによるものであります。

② 負債

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ36億87百万円減少し337億84百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べ28億23百万円減少し214億41百万円となりました。主な要因は、前連結会計年度末と比べ1年内返済予定の長期借入金が31億2百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ8億64百万円減少し123億42百万円となりました。主な要因は、前連結会計年度末に比べ繰延税金負債が12億45百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ69億63百万円減少し250億51百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の売却に伴うその他有価証券評価差額金が31億21百万円減少したことや親会社株主に帰属する当期純損失19億38百万円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、62億37百万円と前連結会計年度と比べ1億16百万円増加となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は32億84百万円（前年同期は33億11百万円）となりました。これは主にたな卸資産の減少23億35百万円、助成金の受取額11億38百万円、減損損失18億85百万円及び減価償却費12億95百万円の計上がありました。助成金収入10億34百万円、投資有価証券売却益51億41百万円及び税金等調整前当期純損失33億89百万円の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は54億円（前年同期は14億24百万円の使用）となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入57億99百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は20億23百万円（前年同期は63百万円の獲得）となりました。これは主に借入金の減少16億94百万円及び配当金の支払額2億90百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ワクチン接種率の上昇と緊急事態宣言等の解除により、経済活動が徐々に正常化するにつれて、個人消費も回復していくことが期待されますが、感染再拡大への懸念等から、先行きの不透明感は拭い切れない状況が続くと思われれます。ビジネスウェア市場も、新しい生活様式に適した手頃な価格の既製品と、高品質なオーダースーツとに二極化しつつありますが、当社の強みである商品開発力と、高機能・高品質を可能とする生地や仕立てへのこだわりとを存分に発揮して、お客様のニーズに的確にお応えしてまいります。また、景気の下振れリスクが顕在化する場合に備えて、コスト構造の一段の見直しを行い、店舗の有効利用や再配置を進めるとともに、株式会社サマンサタバサジャパンリミテッドとのシナジー効果についても、商品の共同開発だけでなく、コスト削減の面でも発現させて、業績の改善に全力で取り組んでまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内外の諸情勢等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,126	6,339
受取手形及び売掛金	2,519	2,092
商品及び製品	20,106	17,927
仕掛品	2	0
原材料及び貯蔵品	452	320
その他	1,830	1,493
貸倒引当金	△2	△5
流動資産合計	31,034	28,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,656	27,383
減価償却累計額	△22,595	△22,563
建物及び構築物 (純額)	6,060	4,819
機械装置及び運搬具	436	429
減価償却累計額	△407	△408
機械装置及び運搬具 (純額)	28	20
工具、器具及び備品	8,703	8,417
減価償却累計額	△8,096	△8,046
工具、器具及び備品 (純額)	606	370
土地	10,705	10,488
リース資産	244	193
減価償却累計額	△172	△148
リース資産 (純額)	72	44
建設仮勘定	5	11
有形固定資産合計	17,478	15,755
無形固定資産		
商標権	1,393	1,240
電話加入権	26	26
その他	429	414
無形固定資産合計	1,849	1,681
投資その他の資産		
投資有価証券	8,543	3,530
長期貸付金	886	750
敷金及び保証金	8,987	8,248
退職給付に係る資産	232	467
その他	518	266
貸倒引当金	△43	△31
投資その他の資産合計	19,124	13,231
固定資産合計	38,452	30,668
資産合計	69,486	58,835

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,824	1,453
電子記録債務	1,773	1,531
短期借入金	12,239	13,090
1年内返済予定の長期借入金	3,830	728
未払金	319	309
未払費用	2,436	2,339
未払法人税等	368	461
未払消費税等	222	210
賞与引当金	494	499
役員賞与引当金	0	—
デリバティブ負債	1	—
その他	753	818
流動負債合計	24,265	21,441
固定負債		
長期借入金	7,848	8,406
長期末払金	50	46
繰延税金負債	2,867	1,622
退職給付に係る負債	658	619
役員退職慰労引当金	26	31
ポイント引当金	708	642
長期預り保証金	675	655
その他	371	318
固定負債合計	13,207	12,342
負債合計	37,472	33,784
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,305	5,305
資本剰余金	13,253	13,253
利益剰余金	8,578	6,349
自己株式	△3,342	△3,342
株主資本合計	23,795	21,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,820	1,698
為替換算調整勘定	63	47
退職給付に係る調整累計額	△66	30
その他の包括利益累計額合計	4,817	1,776
非支配株主持分	3,401	1,708
純資産合計	32,014	25,051
負債純資産合計	69,486	58,835

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	47,842	58,584
売上原価	23,138	25,755
売上総利益	24,704	32,828
販売費及び一般管理費	29,643	40,653
営業損失(△)	△4,938	△7,825
営業外収益		
受取利息	17	17
受取配当金	90	98
不動産賃貸料	484	455
為替差益	—	36
デリバティブ評価益	32	2
雇用調整助成金	320	1,034
その他	255	236
営業外収益合計	1,200	1,881
営業外費用		
支払利息	71	158
持分法による投資損失	2,532	—
不動産賃貸費用	118	76
アレンジメントフィー	63	255
貸倒引当金繰入額	27	4
その他	76	77
営業外費用合計	2,890	572
経常損失(△)	△6,628	△6,516
特別利益		
固定資産売却益	68	5
投資有価証券売却益	—	5,141
段階取得に係る差益	744	—
雇用調整助成金	96	—
特別利益合計	909	5,147
特別損失		
固定資産除却損	45	97
減損損失	6,141	1,885
店舗閉鎖損失	42	37
臨時休業による損失	790	—
その他	223	—
特別損失合計	7,242	2,020
税金等調整前当期純損失(△)	△12,961	△3,389
法人税、住民税及び事業税	202	294
法人税等調整額	51	△40
法人税等合計	254	254
当期純損失(△)	△13,216	△3,644
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△267	△1,706
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△12,948	△1,938

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
当期純損失(△)	△13,216	△3,644
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,763	△3,107
為替換算調整勘定	△10	△17
退職給付に係る調整額	△110	97
その他の包括利益合計	1,641	△3,027
包括利益	△11,574	△6,671
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△11,331	△4,978
非支配株主に係る包括利益	△242	△1,692

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,305	14,745	22,058	△3,342	38,767
当期変動額					
剰余金の配当			△582		△582
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△12,948		△12,948
自己株式の取得				△0	△0
連結子会社と非連結子会社との合併に伴う変動額			50		50
連結子会社に対する持分変動に伴う資本剰余金の増減		△1,491			△1,491
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△1,491	△13,480	△0	△14,972
当期末残高	5,305	13,253	8,578	△3,342	23,795

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	3,057	77	44	3,179	916	42,862
当期変動額						
剰余金の配当				—		△582
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				—		△12,948
自己株式の取得				—		△0
連結子会社と非連結子会社との合併に伴う変動額				—		50
連結子会社に対する持分変動に伴う資本剰余金の増減				—		△1,491
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,762	△13	△110	1,637	2,485	4,123
当期変動額合計	1,762	△13	△110	1,637	2,485	△10,848
当期末残高	4,820	63	△66	4,817	3,401	32,014

当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,305	13,253	8,578	△3,342	23,795
当期変動額					
剰余金の配当			△291		△291
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△1,938		△1,938
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	△2,229	△0	△2,229
当期末残高	5,305	13,253	6,349	△3,342	21,565

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	4,820	63	△66	4,817	3,401	32,014
当期変動額						
剰余金の配当				-		△291
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				-		△1,938
自己株式の取得				-		△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,121	△16	97	△3,040	△1,693	△4,733
当期変動額合計	△3,121	△16	97	△3,040	△1,693	△6,963
当期末残高	1,698	47	30	1,776	1,708	25,051

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△12,961	△3,389
減価償却費	1,165	1,295
段階取得に係る差損益 (△は益)	△744	—
減損損失	6,141	1,885
デリバティブ評価損益 (△は益)	△32	△2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△43	2
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△151	5
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△165	△66
賞与引当金の増減額 (△は減少)	81	4
長期貸付金の家賃相殺額	168	145
敷金及び保証金の家賃相殺額	8	8
固定資産売却損益 (△は益)	△68	△5
固定資産除却損	45	97
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	△5,141
助成金収入	△417	△1,034
受取利息及び受取配当金	△107	△116
支払利息	71	158
為替差損益 (△は益)	△2	△2
持分法による投資損益 (△は益)	2,532	—
売上債権の増減額 (△は増加)	907	434
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,289	2,335
仕入債務の増減額 (△は減少)	△633	△659
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△99	△11
その他	△265	△59
小計	△3,291	△4,112
利息及び配当金の受取額	91	100
利息の支払額	△69	△157
法人税等の支払額	△294	△331
法人税等の還付額	48	78
助成金の受取額	203	1,138
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,311	△3,284
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△96
有形固定資産の取得による支出	△859	△653
有価証券の売却及び償還による収入	0	5,799
有形固定資産の売却による収入	107	11
有形固定資産の除却による支出	△201	△128
無形固定資産の取得による支出	△311	△277
投資有価証券の取得による支出	△331	△6
敷金及び保証金の差入による支出	△287	△96
敷金及び保証金の回収による収入	490	747
貸付けによる支出	△23	△5
貸付金の回収による収入	2	19
その他	△13	86
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,428	5,400

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,923	850
長期借入れによる収入	5,204	8,728
長期借入金の返済による支出	△6,476	△11,273
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△579	△290
非支配株主への配当金の支払額	△9	△4
その他	2	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	63	△2,023
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	23
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,671	116
現金及び現金同等物の期首残高	8,537	6,121
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,188	—
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	65	—
現金及び現金同等物の期末残高	6,121	6,237

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計上の見積り)

固定資産の減損

1. 当連結会計年度の連結財務諸表に計上した金額

科 目	金 額
有形固定資産	15,755百万円
無形固定資産	1,681百万円
投資その他の資産	13,231百万円

2. 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

当社グループは、減損の兆候を判定するに当たっては、原則として店舗資産単位を資産グループとしてグルーピングしており、連結会計年度の末日に店舗ごとに減損の兆候の有無を検討しております。減損の兆候が認められる店舗については、資産グループから得られる割引前将来キャッシュ・フローの総額と帳簿価額を比較することによって、減損損失の認識の要否を判定し、減損損失の認識が必要とされた場合には、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として計上しております。

減損損失の認識の要否の判定において使用される割引前将来キャッシュ・フローの見積りは、取締役会にて承認された翌期の事業計画を基礎として、店舗ごとの固有の経済条件を主要な仮定として織り込んで作成しておりますが、当該仮定は将来の不確実な経済条件の変動などによって影響を受ける可能性があり、実際の営業実績が見積りと異なった場合には、減損損失の計上に伴い、翌連結会計年度の連結財務諸表に重要な影響を与える可能性があります。

また、新型コロナウイルスの収束時期等の仮定については、今後の感染拡大、収束時期や収束後の市場、消費者動向には不確実性がありますが、当社グループは、このような状況は2022年9月期中に概ね正常化すると仮定して、将来キャッシュ・フローの算定を実施しております。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「アレンジメントフィー」は、営業外費用の総額の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた140百万円は、「アレンジメントフィー」63百万円、「その他」76百万円として組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「投資有価証券売却益」、「助成金収入」及び「助成金の受取額」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△479百万円は、「投資有価証券売却損益(△は益)」0百万円、「助成金収入」△417百万円、「助成金の受取額」203百万円、「その他」△265百万円として組み替えております。

(「会計上の見積りの開示に関する会計基準」の適用)

「会計上の見積りの開示に関する会計基準」(企業会計基準第31号 2020年3月31日)を当連結会計年度の年度末に係る連結財務諸表から適用し、連結財務諸表に重要な会計上の見積りに関する注記を記載しております。

ただし、当該注記においては、当該会計基準第11項ただし書きに定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度に係る内容については記載しておりません。

(追加情報)

(財務制限条項)

1. 当社は、借入金4,330百万円について、シンジケートローン契約を締結しておりますが、当該契約には財務制限条項がついており、当該条項は以下のとおりであります。

(1) 2020年9月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における単体又は連結の貸借対照表に記載される純資産金額を、2019年9月期の事業年度末日の純資産金額又は直前の事業年度末日の純資産金額のうち、いずれか高い金額の75%に相当する金額以上に維持すること。

(2) 2020年9月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における単体又は連結の損益計算書に記載される経常損益を2期連続して損失としないこと。

なお、当連結会計年度末において、当社は上記の財務制限条項に抵触しておりますが、主要取引銀行と緊密な関係を維持し、定期的に建設的な協議を継続していることから、今後も主要取引銀行より継続的な支援が得られるものと考えております。

2. 当社の連結子会社である㈱サマンサタバサジャパンリミテッドの借入金10,656百万円については、シンジケートローン契約を締結しておりますが、当該契約には財務制限条項がついており、当該条項は以下のとおりであります。

(1) 2022年2月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における単体又は連結の貸借対照表に記載される純資産金額を、2021年2月期の事業年度末日の純資産金額又は直前の事業年度末日の純資産金額のうち、いずれか高い金額の75%に相当する金額以上に維持すること。

(2) 2021年2月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における単体又は連結の損益計算書に記載される経常損益を2期連続して損失としないこと。

(3) 借入人は、株式会社コナカ（所在：神奈川県横浜市戸塚区品濃町517番地2）をして、借入人を株式会社コナカの連結子会社として維持せしめること。

(4) 借入人は、全貸付人及びエージェントの事前承諾なく、借入人を債務者とし、株式会社コナカを債権者とする2020年10月15日付の8億円の借入金の弁済を行わないこと。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、ファッション事業を中心としており、取扱商品・サービスについて包括的に戦略を構築しております。従って、取扱商品・サービス別にセグメントが構成されており、「ファッション事業」「フードサービス事業」「教育事業」の3つを報告セグメントとしております。なお、「ファッション事業」は、メンズ及びレディース並びに服飾雑貨等の企画・製造・販売、「フードサービス事業」は、かつや、からやま等の運営、「教育事業」は、Kids Duo及びKids Duo Internationalを運営しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	ファッション	フード サービス	教育	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	45,280	1,819	742	47,842	—	47,842
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	45,280	1,819	742	47,842	—	47,842
セグメント利益又は損失 (△)	△4,943	93	△89	△4,938	—	△4,938
セグメント資産	56,050	1,306	329	57,687	11,799	69,486
その他の項目						
減価償却費	987	53	36	1,078	—	1,078
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,233	6	0	1,241	—	1,241

(注) 1. セグメント資産の調整額11,799百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業損失 (△) と一致しております。

当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	ファッション	フード サービス	教育	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	56,044	1,711	828	58,584	—	58,584
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	56,044	1,711	828	58,584	—	58,584
セグメント利益又は損失 (△)	△7,894	40	28	△7,825	—	△7,825
セグメント資産	50,804	851	266	51,921	6,914	58,835
その他の項目						
減価償却費	1,051	45	25	1,123	—	1,123
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	906	14	0	922	—	922

(注) 1. セグメント資産の調整額6,914百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業損失 (△) と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）及び当連結会計年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものはありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	ファッション	フード サービス	教育	計		
減損損失	6,097	24	19	6,141	—	6,141

当連結会計年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	ファッション	フード サービス	教育	計		
減損損失	1,853	—	32	1,885	—	1,885

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）及び当連結会計年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）及び当連結会計年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)		当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)	
1株当たり純資産額	982円69銭	1株当たり純資産額	801円70銭
1株当たり当期純損失	444円71銭	1株当たり当期純損失	66円56銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
親会社株主に帰属する 当期純損失 (百万円)	12,948	1,938
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失 (百万円)	12,948	1,938
期中平均株式数 (株)	29,116,694	29,116,249

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当事業年度 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,441	3,654
売掛金	1,021	981
商品及び製品	10,949	9,769
原材料及び貯蔵品	306	213
前渡金	233	330
前払費用	409	395
関係会社短期貸付金	327	370
その他	423	291
流動資産合計	17,113	16,008
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,485	1,928
構築物	54	33
工具、器具及び備品	330	221
土地	7,469	7,390
その他	44	38
有形固定資産合計	10,384	9,612
無形固定資産		
借地権	12	12
ソフトウェア仮勘定	11	44
無形固定資産合計	24	56
投資その他の資産		
投資有価証券	8,265	3,208
関係会社株式	5,020	5,020
長期貸付金	488	405
従業員に対する長期貸付金	0	0
関係会社長期貸付金	809	1,338
長期前払費用	44	26
敷金及び保証金	6,445	6,125
その他	517	429
貸倒引当金	△447	△385
投資その他の資産合計	21,143	16,169
固定資産合計	31,552	25,839
資産合計	48,666	41,847

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当事業年度 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	5	3
電子記録債務	1,720	1,471
買掛金	622	362
短期借入金	5,800	8,170
1年内返済予定の長期借入金	436	300
未払金	118	88
未払費用	1,046	1,043
未払法人税等	204	356
前受金	322	488
預り金	98	31
前受収益	94	92
賞与引当金	194	218
その他	3	133
流動負債合計	10,666	12,760
固定負債		
長期借入金	4,900	230
長期末払金	50	46
繰延税金負債	2,392	1,132
退職給付引当金	564	532
ポイント引当金	572	389
関係会社事業損失引当金	40	80
長期預り保証金	625	620
その他	70	62
固定負債合計	9,215	3,092
負債合計	19,881	15,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,305	5,305
資本剰余金		
資本準備金	14,745	14,745
資本剰余金合計	14,745	14,745
利益剰余金		
利益準備金	370	370
その他利益剰余金		
圧縮記帳積立金	253	248
別途積立金	9,300	9,300
繰越利益剰余金	△2,674	△2,315
利益剰余金合計	7,249	7,603
自己株式	△3,342	△3,342
株主資本合計	23,958	24,312
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,825	1,682
評価・換算差額等合計	4,825	1,682
純資産合計	28,784	25,994
負債純資産合計	48,666	41,847

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	29,113	28,698
売上原価		
商品期首たな卸高	10,036	10,949
合併による商品受入高	1,646	—
当期商品仕入高	11,349	10,216
合計	23,032	21,166
商品期末たな卸高	10,949	9,769
商品売上原価	12,082	11,396
売上総利益	17,031	17,301
販売費及び一般管理費	20,593	21,853
営業損失(△)	△3,562	△4,552
営業外収益		
受取利息	20	26
受取配当金	271	87
不動産賃貸料	333	385
雇用調整助成金	114	917
その他	196	151
営業外収益合計	936	1,568
営業外費用		
支払利息	42	45
不動産賃貸費用	67	62
貸倒引当金繰入額	107	—
関係会社事業損失引当金繰入額	40	40
アレンジメントフィー	63	—
その他	47	26
営業外費用合計	368	174
経常損失(△)	△2,994	△3,158
特別利益		
固定資産売却益	69	4
投資有価証券売却益	—	5,141
抱合せ株式消滅差益	3,587	—
雇用調整助成金	84	—
特別利益合計	3,740	5,146
特別損失		
固定資産除却損	25	7
減損損失	2,108	1,128
関係会社株式評価損	3,092	—
店舗閉鎖損失	26	34
臨時休業による損失	721	—
その他	147	—
特別損失合計	6,122	1,170
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△5,376	818
法人税、住民税及び事業税	153	178
法人税等調整額	17	△4
法人税等合計	171	173
当期純利益又は当期純損失(△)	△5,547	645

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計
					圧縮記帳積 立金	別途積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	5,305	14,745	14,745	370	258	9,300	3,450	13,379
当期変動額								
圧縮記帳積立金の取崩			-		△4		4	-
剰余金の配当			-				△582	△582
当期純損失(△)			-				△5,547	△5,547
合併による減少			-					-
自己株式の取得			-					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			-					-
当期変動額合計	-	-	-	-	△4	-	△6,124	△6,129
当期末残高	5,305	14,745	14,745	370	253	9,300	△2,674	7,249

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△3,355	30,075	2,988	2,988	33,063
当期変動額					
圧縮記帳積立金の取崩		-		-	-
剰余金の配当		△582		-	△582
当期純損失(△)		△5,547		-	△5,547
合併による減少	13	13		-	13
自己株式の取得	△0	△0		-	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		-	1,837	1,837	1,837
当期変動額合計	13	△6,116	1,837	1,837	△4,279
当期末残高	△3,342	23,958	4,825	4,825	28,784

当事業年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本							利益剰余金 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	その他利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金 合計		圧縮記帳積 立金	別途積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	5,305	14,745	14,745	370	253	9,300	△2,674	7,249
当期変動額								
圧縮記帳積立金の取崩					△4		4	—
剰余金の配当			—				△291	△291
当期純利益			—				645	645
自己株式の取得			—					—
株主資本以外の項目の当期変動 額（純額）			—					—
当期変動額合計	—	—	—	—	△4	—	358	353
当期末残高	5,305	14,745	14,745	370	248	9,300	△2,315	7,603

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合 計	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△3,342	23,958	4,825	4,825	28,784
当期変動額					
圧縮記帳積立金の取崩		—		—	—
剰余金の配当		△291		—	△291
当期純利益		645		—	645
自己株式の取得	△0	△0		—	△0
株主資本以外の項目の当期変動 額（純額）		—	△3,143	△3,143	△3,143
当期変動額合計	△0	353	△3,143	△3,143	△2,789
当期末残高	△3,342	24,312	1,682	1,682	25,994

(4) 個別財務諸表に関する注記
(重要な後発事象)

該当事項はありません。